

平成 22 年度
第 4 回 櫛引地域審議会
会 議 録



期 日：平成 23 年 2 月 8 日 (火) 14:00～

場 所：櫛引公民館多目的ホール

平成 22 年度第 4 回櫛引地域審議会 会議録（概要）

○日 時：平成 23 年 2 月 8 日(火) 午後 2 時 00 分から午後 4 時 15 分まで

○会 場：櫛引公民館多目的ホール

○出席者：敬称略

（委員）齋藤三紀、上野進、成田新一、澤川宏一、渡会昇、松浦安雄、佐久間泰子、鈴木太一郎、金内勝雄、小林良市、五十嵐繁、畑山久恵、成田勇、芳賀俊之、阿部元喜

（市側）・支所長山口朗、次長兼総務課長平藤博巳、教育課長八重幡久喜、産業課長今野勝吉、建設環境課長佐藤正明、市民福祉課長本間俊司、健康福祉主幹難波貢、総務課総務地域振興主査菅原正一、同 宮崎哲、同課主事佐藤文博、同 梅津一成

・教育委員会教育次長森博子、参事兼管理課長佐藤孝朗、学校教育課長栗田英明、同課学区再編主査本間明

・企画部地域活性化推進室長吉住光正、同室係長粕谷一郎、政策推進課調整主任渡部幸一

1.開 会

平藤博巳次長兼総務課長（以下次長）

委員の皆様方にはお寒い中、またご多用の中ご出席いただきましてまことにありがとうございます。本日は委員 20 名のうち 4 名の委員から欠席する旨の連絡をいただいております。過半数以上の出席をいただいておりますので、本日の会議は成立いたします。

ただ今から、平成 22 年度第 4 回櫛引地域審議会を開会いたします。始めに委員の交代についてお知らせします。この度、櫛引地域審議会の委員でありました、委員名簿 9 番の櫛引地区民生児童委員協議会会長でありました田中敦委員が任期満了に伴い退任され、その後任として秋山武弥委員が会長に選任された旨届出がありましたので、秋山武弥委員を新たに地域審議会の委員として、ご委嘱申し上げたところであります。なお、秋山委員は本日所用のため欠席の連絡をいただいております。委員の任期は前任者の残任期間となります。

ここで、山口支所長からご挨拶申し上げます。

2、あいさつ

山口朗支所長（以下支所長）

委員の皆様ご苦勞様でございます。本日は今年度の第 4 回櫛引地域審議会にご出席いただきまことにありがとうございます。また、冒頭にご挨拶の時間を設けさせていただきまして恐縮でございます。

始めに、先月 13 日に公表されました教育委員会櫛引分室教育課職員の不祥事につきましてお詫びを申し上げます。内容につきましては、委員の皆様も報道等でご承知のことと存じますが、同じ櫛引庁舎で働いていた職員でございましたけども、多大なご迷惑とご心配をおかけいたしました関係者、そして櫛引地域の皆様にも心から深くお詫び申し上げます。今後二度とこうした不祥事が発生しないよう再発防止の徹底と信用回復に努めておるところでございますので、委員の皆様方におかれましても、引き続きのご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、今年度の地域審議会につきましては榎本市長の方針によりまして、従来のように年1回市の施策を説明して終わりということではなく、地域審議会としてのテーマを設定して地域課題について十分に協議を行うこととし、櫛引地域では「地域社会で取り組む婚活支援のあり方」についてこれまで3回にわたって協議をいただきまして、本日が最後となります。そこで本日は慶応先端研の出張講座、学校適正配置に関する報告に続きまして、前回委員の皆様からご確認いただきましたとおり、当審議会としての今年度分の協議結果を市へ提言という形で取りまとめていただくということとしておりますし、来年度の協議テーマにおきましても、本日委員の皆様から自由に発言いただきましてご協議をいただきたいと考えております。また、その他として、利用者の減少により厳しい経営状況が続いております「くしびき温泉ゆ〜Town」につきましても、委員の皆様から現状のご理解をいただき地元の大切な温泉として守っていくために、地元の皆様からもっとご利用いただけるように担当の方から状況説明、それから利用促進のお願いをさせていただくことにしておりますので、併せてよろしくお願いいたします。

最後になりますが、今年度の地域審議会へのご出席と、これまでの熱心なるご審議に改めて感謝申し上げます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

次長

続きまして、齋藤三紀櫛引地域審議会会長からご挨拶をいただきます。会長よろしくお願いいたします。

齋藤三紀会長（以下会長）

大変お忙しい中ご苦勞様です。今年は豪雪により毎日雪との戦いでした。対策本部をはじめ、現場の第一線で活躍されておりますオペレーターの方々に深く感謝申し上げます。

さて、これから豪雪の関係では、雪解けに果樹等に被害が出やすいわけです。施設園芸の被害、あるいは果樹被害については事前に対応するように望みます。

さて、支所長からも話ありましたとおり、審議会も今年度分は最後になりました。地域審議会の中でも地域コミュニティの課題調査も色々とされてきました。その中で特に共通の課題がありました空き家の対策につきましては、先月の21日に本所の市民生活課で弁護士を講師に研修会を開いております。どこの地域も空き家は増える一方で、その対策は非常に困難な状況です。それと同時に、福祉面では高齢者対策についても、社会福祉協議会や福祉担当で進んでいる状態にあります。高齢者も増えようとも減ることはない問題で、どこの地域でも大きな課題であります。これらの課題については、やはり地域の福祉は地域で守るという基本的な原則、共助と言われますが、そういう面で進むべきでないかと思えます。どうしても手の打ちようの無い課題につきましては公の力を借りることになりますが、基本的には地域は地域ということで進めればと思えます。なお、当地域では今年度特に婚活をテーマに進んできて、調査・分析をしましたし、新聞報道にも出ました。私も様々批判の声も聞きましたが、そうした少子化の中で我々は何がお手伝いできるかといいますと婚活について環境をいかに作るかという面になると思えます。個人の問題だと言えばそれで終わるわけですが、現状を踏まえながら粘り強く環境作りをしていただければありがたいと思えます。

また、来年度の課題につきましてはこれから意見をいただきながら進めていきたいと思いま

すのでよろしくお願いを申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。

3、研 修

次長

ありがとうございました。

3の研修でございます。ここで、鶴岡市企画部政策推進課による慶應義塾大学先端生命科学研究出前講座の時間とさせていただきます。慶應義塾大学先端生命科学研究所でございますが、2001年4月に鶴岡タウンキャンパスに設置されました本格的なバイオテクノロジー研究所であります。研究所における研究教育活動は画像や動画を使いながら分かりやすく紹介するものであります。なお、この講座は地域の町内会や老人クラブの会合など数十か所において紹介しているようでございます。今年度はそれぞれの地域審議会においても委員の皆様を紹介させていただいております。政策推進課の渡部調整主任からお願いいたします。所要時間は25分程度を見込んでおります。よろしくお願いをいたします。

— 研修 「慶應義塾大学先端生命科学研究出前講座」

講師 企画部政策推進課 渡部幸一調整主任 — 略

次長

どうもありがとうございました。ここで5分間の休憩に入ります。

— 休憩 —

4、説明及び報告

次長

再開させていただきます。次第の4の説明及び報告以降につきましては協議書第7条第3項に基づきまして齋藤会長より会の進行をお願いします。よろしくお願いをいたします。

会長

それでは暫時の間進行を務めたいと思います。

4の「学校適正配置検討作業について」であります。担当課から説明願います。

森博子次長

鶴岡市教育委員会の森と申します。いつも教育行政におきまして皆様からご協力いただいておりますこと、まずもってお礼申し上げます。鶴岡市の学校適正配置につきましては、本日の貴重な審議会の時間を頂戴しまして説明させていただきたいと存じ、ここに職員が参加させていただいた次第でございます。学校適正配置検討委員会は平成22年8月4日に第1回の委員会を開催し、これまで4回開催しております。12月は検討の中間報告を頂戴しました。その要旨につきましては市広報1月15日号に記載しております。すでに皆様ご覧になっていると存じますけど、今後は最終報告をいただくことになっております。委員会でこれまでご検討い

いただきました状況等につきまして、本日担当課としまして説明させていただきたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

— 説明 教育委員会学校教育課 本間 明主査 — 略

会長

今、適正配置について説明いただいたわけですが、関連して若干質問の時間をとりたいと思います。何かございましたら。

では私から1つお聞きしたいのですが、住民自治組織が各地域にあるわけですが、その中に両方の学校にまたがる地区があります。そういうやり方ですと、なかなか子ども会や育成会等が大変だという声が聞こえてくるわけですが、その辺はどのように進んでいるのでしょうか。

栗田英明学校教育課長（以下学校教育課長）

今回の検討委員会の中では、今のところ複式学級の解消と子供にとってどんな環境で学習するのが一番いいのかということで、適正な規模・適正配置について検討したいと考えております。今出された学区間の問題について今回は話し合いを持ちませんが、今後、現在取り組んでいる課題が一段落しましたら、その次の段階で委員会として話し合っていきたいと考えております。学区と自治組織の問題は鶴岡市内にもございますので、今後の課題として捉えていきたいと思っております。今回の検討委員会でもそのような話が出てきましたら、適正配置検討委員会の中でも再び話し合っていきたいと考えております。

会長

今の段階で課題にあがっていないということですか？

学校教育課長

今のところでは捉えておりません。ただ、担当から申し上げたとおり今回については複式学級のある学校区、中学校区について早急に地域での検討委員会を立ち上げていただくというお話しました。8地区に複式学級を持つ地域がありますけど、残り3地区についても地域の方で課題について提案していただくために検討委員会を立ち上げていただき、全ての中学校区で地域の検討委員会を立ち上げていきたいと考えておりますので、その場でご意見いただければありがたいと思います。

松浦安雄委員

中間報告の結論についてお伺いします。資料の23ページです。ただ今の説明では学区区分に温海地区と鶴岡地区とありました。それらは旧温海、旧鶴岡ですが、朝日や櫛引などの東田川郡はどのように学区分けするのでしょうか。

学校教育課長

11ページをご覧くださいと分かりやすいと思います。それぞれ中学校区が示してあります。

この中学校区の中で適正配置について考えていきたいと思えます。今お話にありました朝日地区、櫛引地区については、今回の検討の段階では話し合いになっておりませんので、お分かりいただければありがたいです。

松浦安雄委員

中学校のことは分かりました。問題は中学校は対処できるとしても、小学校が問題だと思えます。それをこのような旧市町村の地区単位のままであることはどうなのかと。合併のメリットを活かすには幅広く考える必要があると思えます。あくまでも旧の単位で動くことになれば、我々の考え方とは違えます。

学校教育課長

今お話ありましたが、合併したメリットを活かすべきということですが、今回の適正化検討委員会については中学校区の中の小学校区についてそれぞれまず考えていくということ。櫛引の数字も出ささせていただきましたが、櫛引の小学校区を将来的に考えていくと人数がかなり減少していくということが既に分かるわけです。今すぐというわけではないのですが、先ほど全部の地域で検討会を立ち上げてと話しましたが、その中でも短いスパンではなく、長期的な見通しを立てながらご意見いただければありがたいと思えます。

会長

成田委員、何かあれば。

成田勇委員

今2人の委員から話ありましたが、私も同じような感想を持っておりました。合併というメリットが見えない形で進むのでは、ということでもあります。これは複式学級解消ということに重点が置かれたからの話だと思えますが、先ほど会長からもありましたように、同じ学区内の中にも通学が大変だとか、行きたい学校に行けないとかそういう問題はあると思えます。櫛引においても資料の8ページを見ると、西小と南小におきましてもある地区の一部が分かれている状態です。(A)の複式学級の解消が大事ということはわかりますが、(B)の地域にも様々な問題があるのではないかとということ積極的に拾い上げるような姿勢が必要ではないかと思えます。地域検討委員会を置いてその中で意見を出してもらいたいということではなく、むしろ教育委員会から積極的に課題を引き出しながら対応できるものは対応していくという努力の積み上げが鶴岡市全体の適正な学校のあり方に近づいていくのではないかと。とりあえず複式を解消してその後に取り組むとなると、地域の課題はずっと残ったままになっていくのではないかと懸念されます。そういった感想を持ちました。

5、協議

会長

ほかにもあるとは思いますが、時間もありますので次に進みます。

5の協議に移ります。「(1)平成22年度櫛引地域審議会の協議テーマに係る提言について」。

担当から説明願います。

次長

協議テーマに係る提言について説明申し上げます。櫛引地域審議会では、「地域社会で取り組む結婚支援のあり方」をテーマとしてこれまで3回にわたりご協議いただき、本日が今年度の最終回となります。そこで本日は前回ご確認いただきましたとおり当審議会としての今年度分のテーマを市への提言として取りまとめていただくこととしています。提言の原案は事前にお配りしておりますので、ご覧になっておられると思いますが、本日委員の皆様から協議いただいたうえ、ご決定いただきたいと思います。決定されました提言は本月21日に開催いたします市長をトップとする鶴岡市地域振興対策会議の席上で支所長から報告させていただきます。婚活に関する取り組みにつきましては、県の動き等も含め、地域内外で注目されているところであり、榎本市長も本市全体で取り組んでいくべき重要な課題であるとして位置付けておられます。また、提言の趣旨でもあります本市総合計画実施計画の重点事項として位置付けるとともに、来年度は櫛引地域のみならず、市全体で積極的に事業展開を図るよう強く要請することといたします。なお、地域審議会としての正式な最終提言ではありますが、委員の皆様の任期が2年ということから今回の提言と来年度の協議テーマの協議結果をまとめて行うこととなりますのでご了承願います。

それでは原案を読み上げます。(案)をご覧ください。

(案)

平成22年度櫛引地域審議会の協議テーマに係る提言

当櫛引地域審議会では、継続して協議する地域協議テーマを「地域社会で取り組む結婚支援のあり方」とし、本年度4回に亘り協議を行ってきたところであります。

また、当地域にあっては別途、櫛引地域結婚支援対策検討会を立ち上げ、「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査」の実施と併せ、同様の検討を行って参りました。特に、櫛引地域結婚支援対策検討会のまとめの中では、結婚については個人の選択の問題ではあるものの、若者が結婚を前向きに捉え、結婚したい人が結婚しやすい地域社会の実現には、各分野がそれぞれの役割を果たしながら、連携して取り組むことが不可欠としております。また、その中でも行政の果たすべき役割や行政の取組みに寄せる期待には極めて大きなものがありました。

当審議会の委員からも、協議テーマについての貴重なご意見を色々と頂戴したところであり、その大要は、地域の活力維持や後継者対策、更には少子化傾向の加速化を抑制するためにも、行政が積極的に結婚活動の支援、いわゆる婚活支援を行っていくべきであり、またそれは、早急に取り組む必要があるというものであります。

については、市総合計画実施計画の中においても「婚活」支援の推進を重点事項として位置付けるとともに、櫛引地域のみならず、市全体でも積極的な事業展開を行っていただくことを要請し、平成22年度の地域協議テーマに係る当審議会の市政への提言といたします。

平成23年2月8日

櫛引地域審議会

以上であります。

会長

次長から提言の案を読み上げていただきました。これについてご意見あればお聞きしたいと思います。何かありませんか。

それではご意見無いようですので、賛成の皆さんから拍手をお願いします。

— 全員拍手 —

それではこのような形で提言することに決定させていただきます。なお、婚活の問題については検討委員会等で色々話題にしながら取り上げてきたわけですが、その後の状況なども併せてご意見あれば、若干の間時間を取りたいと思います。

成田勇委員

この1年間、婚活支援に関わる大きな仕事ご苦労様でしたと思いますけど、問題は来年度であり、具体的にどういう展開をしていくか一番重要だと思います。婚活支援について櫛引地域が大きな課題として動いていることは地域の人もかなり知っている、あるいは関心を持ってきています。そういう面からして具体的な取組みが地域の皆さんにも見えるような形で提言することが大事だと思います。今後の具体的な取組みについて伺います。

次長

ただ今の成田委員からのご質問でありますけど、23年度の事業といたしまして、具体的に婚活の出会いの場の設定を予定では2回ほど計画するという事で予算を要求しております。それから適齢期を迎えた男性・女性の結婚に向けた研修の事業予算も計上してあります。予算総額は少ない金額ですけども、この1年間検討を重ねて報告して、それを具体的に事業予算として要求していますし、市といたしましても企画部でも取り組むとして検討しており、十分連携を取りながら進めていけるものでないかと思います。

会長

参考までにお聞きしたいのですが、昨年暮れに農業委員会が主催された出会いパーティーと、商工会主催のパーティーがあったと聞いておりますけど、何人くらい参加されたのか、その中でうまくいったケースがあったのでしょうか。

佐藤文博主事

12月5日に行われました農業委員会のパーティーですけど、男性23名、女性17名参加しまして、ボーリングをしてグランドエルサンで交流しました。結果的には2組のカップルが成立しました。割合的には約10%であります。

商工会の青年部が主催したイベントですが、私もスタッフとして参加しました。男性が約50名、女性が約40名と100人近くの参加がありました。会食をしながら、お酒を飲んだりゲームをしたりという流れでありましたが、カップルの成立は7、8組くらいだったと記憶し

ております。以上です。

支所長

関連で県の動きもありましたので報告させていただきます。本年度、山形婚活応援団+（プラス）という県庁で立ち上げた委託事業であります。今年度の成果としまして 234 組のカップルが誕生しました。さらに子育て支援が窓口で「山形お見合い支援センター」を設置しております。

会長

ほかにいかがでしょうか。

畑山久恵委員

昨年の暮れからですけど、我が下山添地区では区長さんから「世話焼きばばの会」を立ち上げてもらいました。2 回集まりましたが、良い会を立ち上げていただいたと感じております。女性が 6 人と区長さん合わせて 7 人で情報交換をしております。地区内の全戸の電話番号を区長さんからいただき、この家で嫁が欲しいなやのとか話をしており、それが多くの地区にあればいいと思っております。大きな出会いの場は行政で作るしかないですけど、小さいところから組織を立ち上げていくのも 1 つの婚活の手ではないかと思えます。

会長

ほかにいかがでしょうか。

検討委員会で色々議論しながら今に到っておりますが、実践の段階では各地区に情報交換していかないと、全市的な活動にならないかと思えます。できれば全地区で組織の立ち上げができればいいと感じております。

次長

大変良い取組みということで聞かせていただきました。このことについては区長会等でもぜひ会長さんからお話していただきまして、全体に広がることになればありがたいと思えます。今のような取組みについて行政でどのような手立てができるかにつきましては十分に検討していきたいと思えます。ありがとうございました。

会長

金内委員、いかがでしょうか。

金内勝雄委員

今日の新聞を読みましたところ、日本で一番結婚率が低い秋田県が、婚活に関するデータは多いほうがいいということで、県一本でたくさんのデータを集め、パソコンで申し込んでもらい県の婚活組織がコーディネートしているそうです。具体的に動くのは地区が大事だし、データを集めるのは行政組織でなければ集まらないです。この提言にも鶴岡市一本で、市長肝いりで婚活を大々的にがんばろうという動きが大事だと感じます。

それとたいした成果だと思ったのですが、商工会で7カップルくらい成立したとのことですが、やはりイベントをやらなければならないと感じました。来年度具体的にがんばらなければならないと思いました。

会長

時間の関係もありますので、(2)に移ります。新年度の地域審議会の協議テーマを皆様からご意見をいただきながら絞っていきたいと思います。なお、私を含め充て職で委員になっている方について、団体の役員交代も新年度に向けて出てくると思います。最終的には新しい委員で決定されることになると思いますが、率直なご意見をお願いします。

小林良市委員

23年度の協議テーマであります。22年度は婚活をテーマにしました。その根っこにあるのは人口減少・少子化で、その中でも結婚できない人をどうするかという具体的なテーマで取り組んだわけです。また、先ほど小学校区の再編問題にもありましたとおり、少子化は根っこの問題であります。そこで人口減少の中でこの地域の産業振興、なかんずく農業振興をどうしていくのかという問題が大きなテーマではないかと思います。担い手が減少しており、特に土地と関わって農業をしている耕種農業ですので、今後農地の荒廃が進んでいくのではないかと心配があります。農地が荒廃すれば環境に与える影響もありますし、この地域の生産力・所得が減少し、地域経済が減退していくということにもなりかねません。10年、20年後を見据えた地域の耕種農業振興についてどうしていくかをテーマにしていけたらいいと思います。櫛引地域では農業振興の総合産業化、6次産業化ということで、色々な施策を進めておるわけです。特にフルーツについては他の地域に比して大変強みのある仕組みを作ってきたわけがありますので、この分野は更に拡大していくという方向性でよいと思いますが、農業振興についてテーマにしていきたいと思います。

会長

阿部さん、どうでしょうか。

阿部元喜委員

櫛引という地域にどういった要因で定住するのかと考えた時、最近周りから聞いた話ではどうしてもお金の問題があります。所得をどのように確保していくかが重要で、櫛引では仕事がないから鶴岡、山形市へとどんどん出て行ってしまいます。どのように人を地域に留めるかという問題に、櫛引なりのやり方、今話にでてたフルーツをはじめ農業を活かすという方法もあるでしょうし、様々やり方はあると思うのでそこをテーマにしてはどうでしょうか。

次長

お手元に参考資料ということで、平成22年度各地域の地域審議会の協議テーマの一覧がございます。もう1点、3枚綴りの地域コミュニティ実態調査での課題をまとめたものをお配りさせていただきました。

会長

芳賀さん、いかがでしょうか。

芳賀俊之委員

地域審議会のイメージそのものが私の思いと違って、今年度は婚活のことで色々話し合いをしたわけですが、合併して数年経過し櫛引地域として合併とどういう関わり、課題を持っているのかが非常に興味を持って参加させていただいております。意外にそういうテーマはどここの地域もなく、審議会でその地域の具体的な課題を詰めるようなことが主体になっておるようですが、果たしてこの進め方でいいのか。市長に提案して市長がどう取り上げるかにもよりますが。もう少し鶴岡全体が歩む姿、行政上の様々なサービスの違いがあるようですので、その辺りをもう少し突っ込んで、地域の声を取り上げていただければと思うわけです。今日も様々な資料をいただいたわけですが、地域間の問題、例えば自治組織も旧町村によってだいぶ違うようですし、これから旧市のコミュニティのような組織がどういうふうに関与するのかなどということも私は非常に大きなテーマだと思います。私たちの暮らしと同時に、自治組織の希望や仕組みの違いもあるでしょうし、それらのデータを提供していただければと思っておりますのでよろしくお願いします。

小林良市委員

先ほどテーマについて農業振興や耕種農業と申し上げましたけれども、検討を進めていく時の区域の範囲ですが、今は櫛引地域審議会ですので旧櫛引町の範囲内になるわけです。先ほどの学区再編も旧市町村の区域内で行うということになっていました。ですが、これから農業振興を考えていくことで、耕種農業で隣接の地域、鶴岡で言えば黄金や斎地域、また羽黒・朝日も土地の出入りがけっこうありますし、農業形態も非常に共通するところがありまして一緒に振興していけるところがあると思います。合併して5年も経過しているわけでありますので、いつまでも行政区域範囲で物事を考えていくということではなしに、周辺地域特に土地が隣接しているような地域と大いに連携して施策を構築していく必要があると思いますので、その辺も検討の枠組として考慮していただきたいと思います。

澤川宏一委員

小林委員の意見に賛成です。農業のみならず観光面にしろ、各地域との連携が重要になってくるのではないかと思います。羽黒地域や朝日地域でもそうですが、観光に取り組んでいる部分が見えるのですが、櫛引地域を含めてリンクする取り組みがこれから重要ではないかと思うので検討いただければと思います。

松浦安雄委員

小林委員から大変貴重なご意見をいただいたと思います。合併はこれからの時代を見越したものであってほしいと思います。先ほど学校再編の話がありましたけど、これがそのまま進んで本当に合併のメリットがあったのだろうか。心情を考えた上での議論をしていただきたい

と思います。

もう1つは農業問題であります。菅総理が6月6日にTPPに賛成したいと発言していましたが、日本の畜産の牛については比較的影響がないと言われていたのですが、豚については相当な打撃を受けると言われています。そうしますと方向性も変わってきますので、提案を出す前にその時代の変化にどのように対処していくかについて、実際携わっている人たちの意見を聞きながら提言するべきものだと思います。

上からテーマに乗っ取ってやりなさいということではなく、我々独自で本当に悩んでいる方々の声を聞いてトップの人たちに提案していく姿勢があってもいいと私は思っております。

会長

佐久間委員、福祉の関係で何かありましたら。

佐久間泰子委員

市でも福祉の策定が進んでいるものですから一概には言えないのですが、やはり全体を見通したもので、それが地域に入った場合受け入れられるかは自信がありません。

合併して5年も経ったのですから1つ大きなテーマを市で考えて、それをどういう風に地域でこなしていくのかということをも1つのテーマにしてもよいのではないかと思います。

会長

渡会委員、何かありましたら。

渡会昇委員

やはり農業がよくなると鶴岡市の経済はよくなれないのが原則だと思います。農業の問題も色々ありまして、先ほどから色々お話出ていますけど、TPPの問題もありましたが、これからの米作りを考えますと、いい米を作るか、コストを下げて安い米を作るかだと思います。それと観光の話ですが、市長は一生懸命観光と言いますが、昨年商工会議所で音頭を取りまして観光協会を集めて会を開きました。各観光協会というのは全部独立しておりまして、こんな難しい団体もないんだそうです。金峰山にも観光協会がありますし、どこにもあります。会議は開きましたがとてもまとまるものではなく終わったそうです。弘前市に行きますと、地図や案内図も素晴らしいものを作っています。各団体が独自に動くのではなく、しっかり連携していかないといくら市長が観光を叫んでも厳しいのではないかと思います。その辺を検討していかなければと思います。

会長

ほかに無いでしょうか。無いようですので、今様々ご意見を頂戴したわけですが新年度のテーマの参考にして進めるようにします。

協議は以上ですので私はこれで降壇させていただきます。

次長

長時間にわたってお疲れ様でした。次年度の協議テーマにつきましては委員の皆様から数多くの貴重なご意見をちょうだいしましてありがとうございます。次年度の第1回審議会におきましてテーマを検討させていただきたいと考えております。よろしくお願ひします。

6のその他であります、くしびき温泉ゆ〜Townの利用促進について産業課長からご説明させていただきます。

6、その他

今野勝吉産業課長

くしびき温泉ゆ〜Townの利用促進について若干お話をさせていただきます。くしびき温泉ゆ〜Townの利用促進でありますけど、平成3年に温泉の利用による住民の健康・福祉の増進を目的に設置しまして、同時に管理運営を担う組織ということで、株式会社くしびきふるさと振興公社を立ち上げ、現在は指定管理をしていただいているところであります。資料1ページでございますけど、平成17年度からの利用状況でございます。平成13年度に大規模改修を行いまして、その結果20万人を越す入浴客で推移しておりましたが、平成20年度には20万人を切りまして、昨年度につきましては17万人台に減少してしまいました。2ページですが、平成21年度と22年度の状況であります。利用者の減少傾向は今年度も同じでありまして、さらに1割程度の減少となっております。経営改善を図るため、管理経費の削減や人件費の見直し等の取組みを進めておりますけど、景気の低迷によりまして皆さんの財布の紐も固くなっておるようです。また、平成18、19年にはありましたが、農済庄内の加入者に対する入浴券のプレゼント「ありがとうキャンペーン」がありましたけど、現在は終了しております。さらには20年12月には小真木原に新たな温泉施設がオープンした影響もありまして、入浴客の減少に歯止めがかからない状況になっております。その結果ふるさと振興公社の経営も大変厳しいものとなっております、21年度末でございますけど繰越損金は1,300万円強となっております。先ほど申し上げましたとおり、今年度も入浴客の減少が続いておりますので、さらに拡大していくのではないかと思います。引き続き経営改善に努めてまいりたいと思っておりますけど、地域の大切な施設の安定的な運営を図るうえでぜひ地域の皆さんからなご利用をいただきたく、委員の皆様からも地域の中で、あるいは組織の中で機会あるごとにお話していただきまして、利用拡大にご協力いただきますようよろしくお願ひするものであります。3ページにつきましては「らくらく無料バス」という日帰りでお楽しみいただく企画でございます。申込がありましたら無料バスで送迎しますし、個人の場合も送迎いたしておりますので、地域組織におきましてグループでのご活用をお願いしたいと考えております。次の広報欄引版でございますけど、毎月26日を「風呂の日」としまして、入浴料の特典ですとかポイントサービス、あるいは歌謡コンサートの企画等も設けております。こういったことで利用のきっかけ作りになって欲しいという思いもありますので、ぜひ利用をお願いします。次ですが、これは毎月限定の企画で、2月は「如月御膳」ということで企画しており、食事と入浴料込みのお一人1,500円となっております。こういった企画もご利用いただければありがたいと思っております。それからゆ〜Townでは皆様から利用促進を図っていただくために、利用回数券につきましても、贈り物ですとか記念日のプレゼント、お見舞いのお返し等にもご利用いただけるよう、ラッピングや、のし書きのサービスも併せて行っております。こういったこともぜひ呼びかけていた

だいて利用促進につなげていきたいと思imasのでよろしくお願ひしたいと思imas。繰り返しになりますけど委員の皆様から住民・組織への PR、利用促進についてご協カいただきますようよろしくお願ひしたいと思imas。以上です。

7、閉会

次長

ゆ〜Town の利用促進のお願ひでした。よろしくお願ひいたします。

長時間にわたって大変お疲れ様でした。以上をもちまして平成 22 年度第 4 回櫛引地域審議会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。